

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		非核平和推進事業		担当課	秘書課	担当係	広報係	管理番号	2505	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	1	情報発信・共有の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		世界平和を願うすべての国の人々と手を携えることを誓い、平成18年9月28日に「非核平和都市」を宣言。								
目的 ※何のために		市民に対して、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世まで伝えるため								
対象 ※誰・何を対象に		市民のかた								
手段 ※どのように		非核平和を訴える懸垂幕の掲出や、非核平和イベントの開催、非核平和の推進に関する活動団体の支援を行う。また、過去の映画会で上映した作品のDVDを購入し図書館で貸し出しをするなどしていく								
成果 ※何を求めるか		市民の非核平和への関心が高まる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	2	広報広聴費	非核平和推進事業	136,320
本事業の 主な業務		・ 非核平和推進団体の支援					・			
		・ 非核平和イベントの開催					・			
		・ 関連DVDの貸し出し					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	500,000	60,000	504,000	123,000	272,000	162,000
	決算額	494,300	49,477	404,555	94,128	136,320	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	494,300	49,477	404,555	94,128	136,320	162,000
人件費	従事職員数（人）	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
	人件費相当試算※	2,022,540	2,023,320	2,043,860	2,115,360	2,018,098	2,114,150
総事業費試算		2,516,840	2,072,797	2,448,415	2,209,488	2,154,418	2,276,150

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	イベント開催回数	目標値	回	1	1	1	1	1	1	
		実績値		1	1	1	1	1	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年1回のイベントを維持することを、各年の目標値として設定している / 実施回数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	イベント参加者数	目標値	人	600	1000	1000	1000	1000	1000	
		実績値		910	161	1895	1599	2482	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市民ギャラリーの類似イベント人数などから算定 / 受付簿・整理券などによる実数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	今年度は、渋沢栄一が主役の大河ドラマ『青天を衝け』の放送に合わせ、期間限定で大河ドラマ館がオープンしたため、『非核平和推進パネル展』を、『市役所本庁舎』と『青天を衝け深谷大河ドラマ館』の2会場で実施した。市役所本庁舎には原爆の悲惨さを伝えるパネルを、大河ドラマ館には渋沢栄一翁が携わった青い目の人形事業や、国際平和に関するラジオ演説の全文などを展示した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	2か所で開催し、目標値を上回る多くのかたに、平和の尊さや戦争の悲惨さについて触れていただくことができた。特に、大河ドラマ館には、大河ドラマを通して渋沢栄一翁に興味を持ったかたに、郷土の偉人の平和に対する想いを紹介することで、幅広い年齢層に平和の尊さを知っていただく機会となった。
			評価者 広報係長 深町 裕子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	限られたコストで、多くのかたに非核平和に関する情報に触れていただけるよう、日時を幅広く設定できるパネル展の手法をとり、多くのかたに平和の尊さや戦争の悲惨さを考えるきっかけを作ることができている。
			評価者 広報係長 深町 裕子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	非核平和推進事業	担当課	秘書課	担当係	広報係	管理番号	2505
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>費用対効果に留意し、本事業を展開している。 特にパネル展は、工夫を凝らしマンネリとにならないよう努めている。 令和3年度は大河ドラマで注目を集めた渋沢栄一翁が国際協調・国際平和を 推進していたこともあり、市役所本庁舎と大河ドラマ館の2会場で、平和の 尊さと戦争の悲惨さを伝えるパネル展を展開した。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	秘書課長 塚原 陽一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	成果指標 1	指標名	イベント参加者数
<div><div><div><div>3000</div><div>2000</div><div>1000</div><div>0</div></div><div><div>平成29年度</div><div>平成30年度</div><div>平成31年度</div><div>令和2年度</div><div>令和3年度</div><div>令和4年度</div></div><div><div><div>■ 目標値</div><div>■ 実績値</div></div></div></div></div>			
区分		指標名	
1			
0.5			
0			
平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
令和3年度	令和4年度		